

# 西大和つうしん

2015年 7月号

No.397



奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第397号(2015年7月号)

## 【目次】

7月度山行計画	1
夏山山行計画	3
7月度・8月度カレンダー	4
山行・行事等参加メモ	5
<b>山行報告</b>	
・例会山行 《5月24日》 丹波の山 御岳・小金ヶ岳(船江)	6
・自主山行 《5月30日》 大峰の山 狼平～八経ヶ岳(亀井)	7
・自主山行 《5月30日》 大峰の山 稲村ヶ岳(的場)	8
・例会山行 《6月7日》 金剛山地 金剛山(都築)クリーンハイク	9
・訓練山行 《6月7日》 大峰の山 洞川温泉スキー場(橋本)	10
・自主山行 《6月10日》 大台ヶ原 東大台(野路)	11
・自主山行 《6月13～14日》 大峰の山 カラハッソウ谷～神仙平(藤本)	12
室内例会だより(5/27)	14

## 7月度例会山行計画

### 夏山訓練山行 第1回

6月28日(日) 大峰の山:《釈迦ヶ岳～孔雀岳》

〔L:島崎/緊連:〕

【集合】上牧役場P AM6:00

【コース】上牧P場(6:00)～旭登山口(8:40)～古田の森(9:50)～  
水場(10:45)～釈迦ヶ岳(11:00/11:30)～孔雀岳  
(13:00)～釈迦ヶ岳(15:00)～旭登山口(17:00)

【帰宅予定】上牧P場(20:00)

### 夏山訓練山行 第2回

7月5日(日) 台高の山:《迷岳》

〔L:藤井/緊連:〕

【集合】上牧役場P AM6:00

【コース】奥香肌スメール登山口～(2:00)～飯盛山～(2:40)～迷岳  
(1:00)～唐谷分岐～(1:20)～林道終点～(0:50)～登山口

【帰宅予定】上牧P場(19:00)

～花の名山から大展望を楽しむ～

7月19日(日) 例会山行2 湖東の山:《伊吹山》

〔L:辻/緊連:〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 AM 6:30

【コース】 登山口(9:10)~1合目(9:40)~3合目(10:40)~5合目(11:10)~伊吹山山頂(12:40/13:30)~5合目(14:40)~1合目(15:30)~登山口(16:00)

【帰宅予定】上牧P場(19:00)

~富士山はじめ日本の名峰を美しい稜線から~

7月17日(金)~7月19日(日): 南アルプス《鳳凰三山》

〔L:藤本・SL:杉川・亀高/緊連: 〕

【集 合】先発:王寺駅南口 7月17日 10:00(レンタカー)

後発:生駒 7月17日 21:00頃(S車)

【コース】

《往路》先発:7月17日:王寺駅南口=夜叉神峠登山口(16:30)〔旅館泊〕

後発:7月17日:生駒=夜叉神峠登山口(翌3:00)〔テントもしくは車中仮眠〕

7月18日(土)夜叉神峠登山口(6:30)~砂払岳~薬師岳小屋(15:00)〔小屋泊〕

【標準歩行タイム:6h40 / 休憩時間他1h50 / 最大標高差:(主に登り)1,310m】

7月19日(日)薬師岳小屋(6:00)~薬師岳~観音岳~地藏岳~青木鉱泉(14:30)

【標準歩行タイム:6h40 / 休憩時間他1h50 / 最大標高差:(主に下り)1,750m】青木鉱泉にて入浴

《復路》青木鉱泉(15:30)= 夕ヶ岳 =夜叉神峠登山口= 夕ヶ岳/S車 = 王寺(23:30)

~北アルプスの盟主、槍の穂先に登りましょう!!~

7月30日(木)夜発~8月3日(月) 北アルプス

〔L:藤井/緊連: 〕

【集 合】大阪駅 7月30日 22:10(夜行バス出発時刻)

【コース】

7月30日(木):大阪(22:10 発)==<高速バス>==

7月31日(金):==松本駅(6:49 着)/松本(7:15 発)=<JR>=穂高(7:46 着)/穂高駅(8:00 発)=<バス>=中房温泉(8:55 着)//中房温泉~(3:00)~合戦小屋~(1:00)~燕山荘~(0:30)~燕岳~(0:25)~燕山荘(泊)

【歩行時間:5時間05分】

8月01日(土):燕山荘~(1:50)~喜作レリーフ~(0:40)~大天荘~(0:10)~大天井岳~(0:10)~大天荘~(0:30)~大天井ヒュッテ~(2:50)~西岳ヒュッテ~(1:00)~水俣乗越~(2:00)~ヒュッテ大槍(泊)

【歩行時間:9時間10分】

(大天井をバスすれば2分50分)

8月02日(日):ヒュッテ大槍~(0:50)~槍ヶ岳山荘《槍ヶ岳往復1:00》

~(2:30)~天狗原分岐~(1:00)~天狗池~(1:30)~槍沢口  
ッジ(泊)

【歩行時間：6 時間 50 分】

8 月 03 日(月)：槍沢口ッジ~(1:20)~横尾~(1:10)~徳沢~(1:00)~明  
神平~(1:00)~上高地

【歩行時間：4 時間 30 分】

入浴・食事(上高地アルペンホテル 12:00~14:00)  
上高地(14:20 発)==<さわやか信州号> =大阪(20:46)

## 8 月夏山山行計画

~天涯の花キレンゲショウマを訪ねて~

8 月 8 日(土)~8 月 9 日(日) 四国の山《剣山》

〔L：田中悦/緊連： 〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 8 月 8 日 6：00

【コース】

8 月 8 日 ラ・フォールつるぎ山~(90)~塔丸~(70)~ラ・フォールつるぎ山(泊)

【歩行時間：2 時間 40 分】

8 月 9 日 見ノ越登山口~(50)~にしじま~(65)~次郎笈~(55)~  
剣山~(50)~一ノ森~(70)~刀掛~(10)~にしじま~(35)  
~見ノ越登山口

【歩行時間：5 時間 35 分】

### 夏山山行

8 月 24 日(月)~8 月 27 日(木)： 北アルプス《白馬~唐松岳》

〔L：島崎/緊連： 〕

【集 合】王寺 8 月 24 日 12：00(出発)

【コ-ス】

8 月 24 日：王寺 12:00 発~猿倉 P 場 19:00 頃着

8 月 25 日：猿倉~白馬大雪渓~白馬岳~白馬山荘泊

【歩行時間：6 時間弱】

8 月 26 日：白馬山荘 7:00 発~唐松山荘 15:00 着

【歩行時間：約 7 時間】

8 月 27 日：唐松山荘 7:00 発~ゴンドラ八方駅 10：30~猿倉~  
王寺(20:00)

# 西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	水		1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土	テーピング講座	4	火	県連理事会(県連事務所 19:30~)
5	日	例会山行2 迷岳(藤井)	5	水	
6	月		6	木	
7	火	県連理事会(県連事務所 19:30~)	7	金	
8	水		8	土	8/8~9 例会山行2 剣山(田中悦)
9	木		9	日	
10	金		10	月	
11	土		11	火	
12	日		12	水	
13	月		13	木	
14	火		14	金	
15	水		15	土	『西大和つうしん』9月号原稿締切
16	木		16	日	
17	金	7/17~19 例会1 鳳凰三山(藤本)	17	月	
18	土		18	火	
19	日	例会山行2 伊吹山(辻)	19	水	
20	月		20	木	
21	火		21	金	
22	水	『西大和つうしん』8月号原稿締切	22	土	臨時総会(事務所 14:30~)・室内 例会・暑気払
23	木		23	日	
24	金		24	月	8/24~27 例会1 白馬~唐松(島崎)
25	土		25	火	
26	日		26	水	
27	月		27	木	
28	火		28	金	
29	水	室内例会(事務所 19:30)	29	土	
30	木	7/30~8/3 例会1 表銀座(藤井)	30	日	
31	金		31	月	

## 山行・行事等参加メモ

入会順		6/24 室内例会	6/28 釈迦ヶ岳	7/5 迷岳	7/19 伊吹山	7/17~19 鳳凰三山	7/30~8/3 北アルプス	8/8~9 剣山	8/24~ 27 白馬岳 唐松岳	8/22 暑気払い
1	(窪田)									
2	都築									
3	藤井									
4	(石田)									
5	多賀									
6	田中悦				車					
7	島崎									
8	田中初									
9	村田									
10	林									
11	辻			車	車					
12	勝尾									
13	藤本									
14	杉村									
15	高橋									
16	玉越									
17	的場			車						
18	杉川									
19	阪口									
20	橋本									
21	今井									
22	亀高			車						
23	松浪									
24	亀井									
25	船江									
26	野路									
27	竹川									
28	森川									
	合計									

## 例会山行

## 丹波の山 御岳(793m)・小金ヶ岳(725m)

【日 程】5月24日(日)曇りのち晴れ

【参加者】L阪口・S L島崎・S L藤井・S L田中悦・田中初・藤本  
亀高・的場・高橋・亀井・玉越・今井・杉川・船江【コース】火打岩登山口(8:30)～鳥居堂跡(9:15)～大岳寺跡(9:45)  
～御岳(10:25/10:35)～昼食(10:45/11:15)～大タワ(11:  
40/11:55)～小金ヶ岳(12:55)～福泉寺跡(13:40)～火打  
岩下山口(14:17)

心配していた天気も登山口へ着く頃には快晴に。火打岩の駐車場へ一番乗りであった。登山口へは人家の間隙から入る。獣除けのゲートを抜けるといきなりの階段急登がしばらく続くが、その後は快適な尾根を歩く。目指すはクリン草の群生地。

鳥居堂跡を越えた付近で、今年初めての春蝉の声が聞こえてきた。そこから100mほど下ったところに近畿最大というクリン草の群生地がある。期待を膨らませ進むが、ポツポツとしか咲いていない・・・これだけ～？とガッカリしながらも夫婦橋を渡り奥へ進むと、沢沿いに一面のクリン草が！さすが近畿最大級、あれだけの群生を見るのは初めてで感動でした。たっぷり堪能したので気分良く分岐までを登り大岳寺跡へ。



御岳・大岳・三岳 この山はいろんな書き方があるらしい・・・。御岳山頂までは岩場の急登と展望の良い場所が交互にあり爽快であった。早めの昼食をとり、岩場と急階段を慎重に下り大タワへ。次に目指すは岩稜の山、小金ヶ岳。山頂までの道は、鎖場、岩場の連続でとても面白い。慎重に行けば問題のない登りやすい岩場で、展望の開ける場所も多く楽しめ快適である。御岳を振り返ると、岩稜を越えて来た光景が嬉しい。

小金ヶ岳山頂からは遠く青葉山まで見えた。下りも鎖場・岩場・沢沿いの濡れた岩と緊張が続くが、沢の音と蛙の鳴き声に癒された。変化に富んだ岩稜とクリン草を堪能した一日であった。

(船江)



## 自主山行

## 大峰の山：《狼平～（遡行）～八経ヶ岳 1,915.2m・弥山 1,895m》

【日 程】5月29日（金）夜発～30日（土）

【参加者】L 藤本・SL 杉川・藤井・多賀・玉越・橋本・今井・亀高・亀井（計9名）

【コースタイム】熊渡(6:16)～双門ノ滝分岐(6:51)～川合・弥山登山道合流(8:32)～レンゲ道分岐(9:39)～狼平（昼食）(9:57/11:00)～池ノ谷・八剣谷分岐(11:34)～弥山小屋取水口(12:57)～八経ヶ岳(13:49)～弥山神社(14:31)～聖宝ノ宿(15:42)～弁天の森(16:18)～行者還トンネル西口分岐(16:40)～行者還トンネル西口(17:27)

29日夜遅く熊渡到着。満点の星を見ながら橋上で幕営。4時半起床で車1台を行者還トンネル西口へデポし、6時16分いざ出発。早速ザレ場歩き急登。昨夜の寝不足が少々足に堪える。双門ノ滝分岐を右（金引ルート）に取る。（左は上級者用で弥山川の遡上で滝が沢山有るとの事）。金引橋を越えて暫くすると急登が始まり、稜線歩きになり右側は新緑の明るいブナの自然林、左側は杉の鬱蒼とした植林帯の中を、心地よい風が背中を押してくれる。テープで印付けしながら歩いて



る親切な男性とすれ違った。頂仙岳の西を巻きながらレンゲ道分岐にさしかかる。これを左に取り、吊り橋を渡ると、そこは開けた広い立派な2階建ての狼平避難小屋。水も冷たくキャンプに最適の場所の様だ。ここで時間をたっぷり取って昼食とする。これより弥山川遡行で池ノ谷を沢登りする。足下は少々気を遣うが、暑くもな

く気持ち良く歩いていると左岸に廃屋跡。暫くすると大黒岩手前の大崩落跡。蝶々や虫に癒されながら、大岩を超え、倒木を乗り越え子供心にかえって沢渡りを堪能し、弥山小屋取水口迄来ると沢も細くなり、右に巻いていくと天然記念物のオオヤマレンゲを鹿の食害から守る防護柵が見えてきて小休止。

振り返ると立ち枯れのようなトウヒ、シラビソの針葉樹原生林の弥山が見え、それを右に取り少し登ると近畿の最高峰八経ヶ岳。あまり広くない山頂だが大峰の山々を一望出来、素晴らしい展望に暫し呆然。名残惜しいが次の弥山に向けて出発。弥山小屋から山頂に到着。ここは天川奥宮で弁財天が祀られてる。勿論展望は八経ヶ岳同様素晴らしい。下りの弥山小屋で冷たい飲み物とトイレを済まし、つづら下りを繰り返していると普賢大師が祀られた聖宝ノ宿に到着。しばらくアップダウンを繰り返し、出合から50分弱の激下り。行者還トンネル西口に無事到着。大峰山の醍醐味を楽しんだ一日でした。



（亀井）

## 自主山行 大峰の山：<<稲村ヶ岳（1726m）>>

【日 程】5月30日（土）晴れ

【参加者】L的場・島崎・船江

【コース仏】母公堂(9:00)～法力峠(9:55/10:05)～山上辻(11:15/11:55)～キレット(12:18)～稲村ヶ岳(12:30/12:40)～キレット(12:50)～大日山(13:00)～山上辻(13:23)～レンゲ辻(14:10/14:15)～大峰大橋林道終点(15:25)～大峰大橋(15:45)～母公堂(16:08)

今回はいつもと違って、檀原神宮前駅集合で出発。洞川までの道中、黒滝あたりでたくさんのダンプとすれ違う。1時間半ぐらいで、母公堂に到着。駐車場は満杯で、母公堂を少し過ぎた道幅の少し広いところへ駐車。

母公堂の横の登山口から、なだらかな坂道を登り始める。今日は天気がよさそうなうえ、それほど暑くもなくちょうどいい。50分あまりで法力峠。小休止。ここから山上辻までの間、ところどころ木が倒れたり、橋が崩壊したりと、ここ数年の豪雨で登山道が少し荒れていた。山上辻に着くと数組の登山者が休憩中。われわれもここで昼食とする。明るい日差し、心地よい風、小鳥のさえずりを聞きながらの贅沢な昼食のひと時であった。

山上辻を後に出発。大日山近くまで来ると、花も見られるようになって来る。シヤクナゲ、イワカガミがたくさん咲いている。稲村ヶ岳頂上近くになると真っ白なツマトリソウも咲いている。頂上に到着すると、山上ヶ岳は真正面に、弥山方面の頂上近くに白っぽく弥山小屋の屋根らしきものも見える。今頃は奥駈け行きのグループが、弥山辺りか？

ネットで、大日山に先週の登った人が、オオミネコザクラの写真をアップしていたので、期待して登ったが見当たらなかった。山上辻の看板に、咲く時期が5月初旬と書いてあったので、ちょっと遅いのかもかもしれない。次回の楽しみとしておこう。

山上辻からは、レンゲ辻を回る。地図のコース仏と山上辻の案内板のコース仏では時間がちょっと違う。案内板のほうが時間が少なく書いてあるので、気持ちも楽になる。稲村ヶ岳、大日山が遠のくにつれて、山上ヶ岳が近づいてくる。レンゲ辻に近づくと1組のカップルが下りかけようとしていた。入れ替わりに我々もここで小休止。休憩していると、コバエが何匹も顔の周りを舞う。これが、下山中ずっと付きまとわれて、閉口した。

いつもは稲村ヶ岳をピストンするだけのことが多いのだが、レンゲ辻を回り、大峰の西の覗きも真近に見られよかった。

(的場)



## 例会山行 2 県連クリーンハイク 金剛山（郵便道）

【日 時】6月7日（日）晴れ後曇り

【参加者】L辻・S L林・勝尾・藤本・藤井・田中(悦)・田中(初)・村田・高橋・  
亀高・船江・竹川・都築・一般2名

【コース】高天彦神社駐車場(9:15)～郵便道分岐(9:44)～一ノ鳥居(11:35着)(昼食)(12:15発)～郵便道分岐(13:33)～高天彦神社駐車場(14:00)(下山後、ゴミの分類・計量)14:25解散

ここしばらくは体調が思わしくなかったため、久々の山行となりました。今回は、会員の参加はあったものの一般の参加者が亀高さんの会社の人とその奥様の2人だけと少し寂しいクリーンハイクとなりました。また、ゴミの量は少なかったものの、回収したゴミの大半は登山道から谷側に少し下った所にあつたのですが、一般の参加者が積極的に捨ててくださったのには感心いたしました。

梅雨の時期にもかかわらず、天候に恵まれ、快調に登ることができました。最後に階段を登り切った後、ちはや園地には行かずに不動さんの祠のある一ノ鳥居で、昼食をとりました。下山時は登りの階段ではない道を下っていきましたが、道はなだらかで山行自体は良かったと思います。ただ、クリーンハイクをもっとアピールするためには、清掃場所や集合場所などを検討してより多くの人に来ていただけるように考える必要があると思いました。

ゴミの量：缶類 0.4kg、ビン類 3.4kg、燃えるゴミ 5.0kg

燃えないゴミ 0.4kg、その他(ペットボトル)0.3kg 計 9.5kg

(都築)



県連登山学校（ハイキングリーダー学校）  
読図を読む山行 大峰山系 洞川温泉スキー場付近

【日程】 6月7日（日）晴れのち曇り

【参加者】 L 亀井・中武（講師 奈良労山）・杉川・橋本 4名

【コース】 洞川温泉スキー場付近

地図を読む

現在どこに自分達がいるのか地図上で確定する課題をあたえられる。地図と周りの山を見ながらでもなかなか「ここ」と答えることが出来ず、時間だけが過ぎていく。やっとこの辺と印をすると「その根拠は？」と尋ねられるがはっきり答えられない。2時間程かけてやっと確定できスキー場へと出発。

重なり合って見える山を地図上で見ていくのはとても難しかった。地図を見ながらスキー場まで歩き谷や尾根を確かめるが、自分たちの見る位置から確定出来ないところもあったので、ルートファインディングの訓練山行で実際に確かめてみるのもいいのではとの案が浮上！次回の山行はどの様になるのか・・・



不安だけが頭をよぎる。

ツェルトを使用しビバークの練習

ツェルトの張り方や使用方法を教わる。実際にビバークすると仮定し持っている衣類を（レインウエア、手袋など）着用し、ツェルトを被る。手、首、足首、ひざが特に寒さを感じるので冷え対策としての装備が必要とアドバイスを受ける。

パッキングの方法を教わる。

地図読みは本当に難しく気長く一つ一つ教えてくださるのだが、説明に頭がつかいかなかった。しかし、今回は地図読み以外に色々教わり大変有意義な山行だった。前夜泊での山行でスキー場の駐車場の様な所で幕営した。慣れない生徒2名が杉川さんに教えていただきながらテントを張った。大変いい経験となった。有難うございました。

（橋本）

## 自主山行 大台ヶ原:《東大台》

【日 程】6月10日(水) 晴

【参加者】L 島崎・今井・橋本・野路 (4名)

【コース】大台ヶ原駐車場(8:30)～日出ヶ岳(9:30)～正木嶺展望台(9:30)～  
正木ヶ原(10:45)～牛石ヶ原(11:10/11:50)～大蛇ヶ原(12:10)～  
シオカラ谷吊橋(13:00)～駐車場(13:45) 約4時間30分

梅雨の季節、雨もあがり快晴となる。「地図の勉強」と言いながら、皆で地図とコンパスを出し、位置と方向を確認して、駐車場から北東のルートへ進む。

日出ヶ岳と、正木ヶ原の分岐の所までは緩やかな登りで、日出ヶ岳が近づくにつれて、急な階段の登りとなる。展望台からは、弥山、八経、大普賢岳等大峰の山々と、熊野灘の海が見える・・・360度の大パノラマ!!

こんなに綺麗に遠くまで、見えるのも珍しい事でしょう。

分岐から正木嶺まで「シロヤシオ」の木のトンネルが続く。しかし花を見る事は出来ず・・・残念!! 今年には咲かなかった様子。又正木ヶ原までは、立ち枯れの白い樹や、倒木・・・骨樹?と言うのでしょうか? 不思議な世界。

青い空と白い立ち枯れの木々、心地よく吹く風、別世界に来たような感じさえさせてくれる大台ヶ原。でも昔は今とは全く違って、樹林帯で覆われ苔むしていたようです。伊勢湾台風で沢山の木が倒れ、倒れた木を取り出した事によって、苔が駄目になり、笹が覆って来た為、小さい木が育たなくなり、今の姿になったようだ。

牛石ヶ原で少し早目の昼食。牛石は「魔物を封じ込めた牛が横たわっている」と伝えられているようだ。しばらく歩くと大きな岩の大蛇ヶ原。丸く「ツルツ」とした岩なので少し足がすくむ。大蛇ヶ原からシオカラ谷までの間は、「石楠花」の木が群生していたが、シャクナゲも又、あまり花を付けなかった様子。

来年は「シャクナゲ」も「シロヤシオ」も沢山の花を咲かせてくれる事でしょう。

シオカラ谷の吊橋まではかなりの下り。河原に降りて、美しい石や流れを、しばし時を忘れ眺めていた。吊橋からは急登の階段となり一気に高度を上げて行く。

光と風とみどりの大台ヶ原を、のんびりと、ゆったりと歩くことが出来、本当に素晴らしい時を過ごしました。又、花の咲く頃に訪れたいと思います。(野路)



## 自主山行

## 大峰の山：《カラハツソウ谷～神仙平》(途中撤退)

【日 程】6月12日(金)夜発～14日(日)

【参加者】L 藤本・SL 杉川・藤井・今井(計4名)

【コース】林道ゲート〔舟ノ川渡渉〕(8:12)～崩落地 A 通過(8:39/9:08)～七面尾からの林道合流(10:04)～七面山登山口(10:14)～崩落地 B〔引返し地点〕(10:46/11:13)～七面山登山口(12:17)～七面尾からの林道合流(12:27)～崩落地 A 通過(13:08/25)～林道ゲート(13:42)

険悪な谷として名高い舟ノ川の源流、入ったら出られないと恐れられている地獄谷の水が尽きるところ、カラハツソウ谷を詰めたその先に、神仙平とよばれる別天地があるという。奥駈の稜線に抱かれた小カールの上部に位置するこの場所で、テント泊ができたならどんなに素晴らしいだろうと思いたち、また、少々冒険心も手伝って、このヴァリエーション領域に足を踏み入れることとなった。

前夜は旧大塔村役場前から林道殿野線で高野辻のヘリポートへ。何頭もの鹿の出迎いに車は遅々として進まず、到着したのはすでに午前1時。ヘリポートから階段を上った草地にテントを張り、東屋で小宴会をして2時半ごろ就寝。



翌朝4時半過ぎ、テントから出て驚いた。その名のとおりに、大峰と高野をつなぐ稜線上にあるこの場所は、西は高野方面へ続く前衛の山々が、東は大峰の名峰が一望のもとに見渡せる絶好のビューポイントであった。雲海に浮かぶ西吉野の山、踵を返せば観音峯から山上、稲村、大普賢、弥山、八経から明星、仏生、孔雀、そして釈迦へと、名だたる山々のシルエットがつながり、静かに日の出を待っている。やがて稲村ヶ岳が曙光を浴び始めると稜線は刻一刻と姿を変えていく。絶景に見とれているうちに日は昇り五月晴れの普通の朝となったころ、全員が目覚めて思い思いに朝食、テントを撤収して登山口へと向かう。

かつては王子緑化の私設林道をたどって七面山登山口まで車が入れたというが、いまは舟ノ川を渡ったところにゲートが設けられている。かつての橋も、下が土砂で埋まり、上を水が流れる洗堰と化していた。水量は登山靴だけでは渡渉不可、スパッツをつけてなんとかというところだ。

今回の山行は、この洗堰の水量が重要なポイントだった。今日の深夜から明日午前中にかけて相当量の降水が予想されている。今日、山中でテント泊した場合、どんなに早く下山しても、ここへ到達するのは昼前、すでに水位はかなり高くなっているだろう。明日ここへ戻ってきたときに、急流の渡渉さえかなえばそこに車がある！という極めて誘惑の強い、かつ危険な状況は避けねばならない。ということは、雨が降る前にここへ戻ってこなければならぬということだ。残念ではあるが、神仙平でのテント泊は断念、日帰りの行程とするほかなかった。

各自テント泊の装備を車に残し、かなり身軽ないでたちとなって川を渡る。この先カラハツソウ谷まではずっと林道歩きだからまあ気楽・・・と思いきや、打ち捨てられて廃道同然となった林道は、登山道よりもはるかにやっかいなものだった。歩き始めてすぐに目の前に大きなヒキガエルが飛び出す。と同時にこの獲物をねらっていたのだろう、太い蛇が私のすぐ足元から身をくねらせて逃げ去った。そこから20分ほどで、最初の崩落地。かろうじて路面の一部は残っているが、その下は空洞、わたしのような重量級がその上を踏むリスクは極めて高い。やむを得ず高捲くが足元はガレや定まらぬ土砂でズルズルと滑る。細いトラロープを頼りに大嫌いなトラヴァースを一步一步、しかし、よりによってこんな時にまた・・・先に通過した二人は気が付かなかったようだが、ロープの中継となっている木に蛇が巻き



付いている。今度のやつは頭が三角で、私が近づくと盛んに牙をむいて威嚇してくる。せっかくの支点に近づくことができない。ここで足をすべらせば50m以上は転落するだろう。最終的にはカラビナ・プルジックで気休めの確保をしつつなんとか蛇を遠巻きにして通過したが、ほとんど生きた心地がしなかった。帰りにはせめて蛇だけはいなくなってくれ・・・！

林道は荒れに荒れていたが、あちらこちらに滝が落下、かなり立派な二段のものもあり飽きることはない。しばし帰りの蛇の道のことは忘れて歩を進める。そのうち別の林道を合わせて少しいったところが七面山登山口。今回はここは素通りでそのまま林道を進む。七面山への登山者はそれなりにいるだろうが、ここからは本当のヴァリエーションルートとなる。もちろんまだ林道だが、荒廃はますます酷くなり、ついに完全に山又ケに持って行かれてしまっている場所に出た。何とかトラヴァースはできそうだが（またまた大嫌いなトラヴァースだ！）・・・ここでしばらく思案。ここを何とか通過しても、またその次の崩落地が待ち構えているだろう。隘路を一つ通過するたびに帰りの隘路も増えて行く・・・結局ここで引返しを決断した（臆病なリーダーを許してくれ！）

木々の間からはるかに目指す神仙平の草地が望まれる。その上の急斜面を詰めれば奥駈道！今度は上からアプローチしよう！絶対に辿りついてやる！そう自らに言い聞かせながら往路をたどった。幸い帰り道ではあの毒蛇の姿は消えていた。

洗堰に戻って冷たい溪流に足を浸して大休止。車に戻ってひとまず大塔の夢の湯へ。そこでまたアルコールを仕入れ、ふたたび昨日と同じテント場へ戻る。誰一人としてそのまま帰宅することは念頭になかった。二日目の夜は時間もたっぷり、本当は神仙平で食するはずの共同食をたいらげ、たっぷり飲んで、たっぷり語った。翌日は霧雨に煙る朝の展望をゆっくり楽しんだあと、あとはドライブ。天川はみずはの湯の香高い薬湯に疲れをいやし、洞川ではアユやヒメマスに舌鼓。目的は達せられなかったが、十分満足して帰路に就いた。

ところで、神仙平でのテント泊を日帰りに変更したことについては、渡渉の可能性という点では結果的に必ずしも必要ではなかった（予報に反して雨量は多くなかった）が、重装備での崩壊地通過はおそらく無理だったことを考えると、やはり正解だった。同時に、今回の山行を下見と考えるならば、将来のためにこれも十分な意味があったと言える。目下リベンジのための方策を検討中である。

（藤本）

## 室内例会だより

【日 時】2015年5月27日(水) 19:30 ~ 20:55 事務所

【出席者】都築、藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、  
藤本、杉村、玉越、的場、杉川、阪口、今井、亀井、船江、野路、  
竹川、橋本

### 1. 山行案内

6月7日(日) クリーンハイク清掃登山 葛城・金剛(金剛山)	L 辻
6月10日(水) 自主山行 台高山脈(大台ヶ原)	L 島崎
6月21日(日) 例会山行1 丹波の山(白髪岳~松尾山)	L 村田
6月28日(日) 例会山行2 大峰の山(釈迦岳~孔雀岳)	L 島崎

### 2. 山行報告

4月12日(日) 県連主催7月1日登山講習会 六甲の山(蓬莱山)	L 中武 5名 (1名他会)
4月19日(日) 例会山行 宇陀の山(仏隆寺~室生寺)	L 藤井 5名
4月26日(日) 県連主催7月1日学校 比良の山(蓬莱山)	L 橋本 5名
4月29日(水) 自主山行 布引山地(大洞山~尼ヶ岳)	L 的場 3名
4月30日(木)~5月3日(日) 自主山行 上信越の山(火打山・妙高山北峰)	L 中武(奈良労山) 3名 (TeamY2)
5月3日~5月6日 自主山行北アルプス(立山三山)	L 中武(奈良労山) 3名 (他会1名) (TeamY2)
5月3日(日) 自主山行 鈴鹿の山(綿向山)	L 島崎 6名
5月10日(日) 県連主催 登山者の為の事故対応講習会	6名
5月13日(水) 自主山行金剛・葛城(葛城山)	L 島崎 3名
5月17日(日) 例会山行1 台高山脈(白鬚岳)	L 亀高 13名

### 3. 連絡その他

県連より報告

「登山者のための事故対応講習会」第2回目(3期連続講習)終了する。

引き続き課題としてピバークの体験を必ず行うこと。

当会として9~10月にかけて皆が参加できるよう日程を組む。

安全な山行について

夏山山行に向けて岩稜歩きの講習会を県連教育部に依頼。

日程等詳しくは藤本さんより後日連絡。

会費の改定について

前期の懸案であった会費改定について8月に臨時総会を開き検討、決定する。

8月日程変更

8月22日(土)	14時30分	臨時総会
	15時00分	8月室内例会

その後暑気払い開催(場所、時間は未定 担当女子部)

4月26日の例会山行の転落事故の事故発生時の状況、怪我（腓骨開放性骨折）の経過等杉村さんから詳しく説明がありました。

怪我は大事に至らず快方に向かっているそうです。

又、4月19日の例会山行で転倒し左手骨折された窪田さんも順調に回復されています。

本当に良かったです。



(記： 橋本)

# 西大和つうしん

第397号(2015年7月号)

2015年6月24日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>